

## 練習問題 解答・解説

### 第 I 部

問1 ③

問2 ④

問3 ①

問4 ③

問5 ①

問6 ②

問7 ①

問8 ⑥

問9 【解答のポイント】

- ・以下のポイントをおさえつつ、論理的な文章にまとめればよい（下線は指定語句）。
- ・政策の目的：日用品の廉売を通じて物価の引き下げを図る。
- ・具体的な方法：①市場内の小売商に流通改善を行わせて低価格販売を実現する。  
②市価の牽制を通じて、市場外の小売商にも同様の改善を促す。
- ・流通改善の具体的内容：仕入れ先の選定や仕入れ条件の改善、現金販売・持ち帰り制・正札販売の導入など。
- ・流通改善の効果：粗利益を低く抑えながら商品回転率を上昇させるという薄利多売を実現した。
- ・政策の効果：物価の引き下げに一定の効果をあげた。

問10 【取り組む際のヒント】

- ・会社の歴史をまとめた本は「社史」と呼ばれ、一般書店に流通することは稀だが、大学図書館や公共図書館には所蔵されていることが多い。
- ・図書館の蔵書検索を使う際には、あらかじめ社名がわかっているならばその社名を入力すればよいし、わかっている場合には「社史 百貨店」などのキーワードを入力して探すこともできる。
- ・本書の図 3-3「百貨店組合創立時における組合店の立地状況（1937年12月）」を参照すれば、1945年以前に創業した百貨店の具体名を知ることができる。

## 第Ⅱ部

問1 ③

問2 ④

問3 ②

問4 ②

問5 ①

問6 ④

問7 ④

問8 ②

問9 ア:スーパー, イ:建物, ウ:地元民主

問10 【取り組む際のヒント】

- ・自治体がその地域の歴史をまとめた本は「自治体史」と呼ばれ、『〇〇県史』『〇〇市史』などの書名がつけられている場合が多い。
- ・第Ⅰ部で触れた社史と同様に、自治体史も一般書店に流通することは稀だが、大学図書館や公共図書館には所蔵されていることが多い。
- ・特に、地元の自治体史を所蔵する図書館は多く、「郷土資料」などのコーナーが設けられていれば、そこに配架されていることも多い。
- ・多くの自治体史では、「通史編」と「史料編」に分けて巻が編成されており、「史料編」には歴史資料が翻刻されて掲載されている。
- ・大型店問題に関しては、通史編で取り上げている例も少なくないが、史料編のなかに関連する史料が収録されていることも多い。

### 第Ⅲ部

問1 ①

問2 ④

問3 ④

問4 ②

問5 ②

問6 ①

問7 ⑤

問8 ①

問9 【解答のポイント】

- ・以下のポイントをおさえつつ、論理的な文章にまとめればよい(下線は指定語句)。
- ・商業集積としての特徴:①ディベロッパーによって計画的に造成・管理・運営される。  
②組織特性の面からは、商店街のような「所縁型組織」ではなく、ディベロッパーがテナントを編成する「仲間型組織」としての性格をもつ。
- ・内部編成の特徴:百貨店や総合スーパーなどを核店舗として、その他の一般テナントを組み合わせる形で、魅力的な集積を編成する。
- ・テナント管理の方法:ディベロッパーによるテナント管理は、賃貸借契約を通じて賃料をコントロールする形で行われる。

問10 【取り組む際のヒント】

- ・「歴史のありそうな」というのは漠然としているが、商店の店構えなどからそのように判断されるものであればよい。
- ・人によっては、自分の親や親類縁者にそうした商店を経営する者もいるだろうから、そのような人に聞き取りをしてもよい。
- ・2～3人のグループで取り組むようにすると、聞き取りの内容がより豊かなものになったり、考察が深められたりすることもあるかもしれない。
- ・万が一、聞き取りをお願いして断られた場合には、嫌な顔をすることなく、きちんとお礼を述べて立ち去ること。こちらが一方的にお願いしていることなのだから、断られて当然だという気持ちを忘れずに取り組むことが大切である。